



# 東田川文化記念館だより

【第307号】令和 5年 6月 1日  
電話 0235-64-2537  
FAX 0235-64-2396  
休館日 毎週月曜日  
発行 公益財団法人藤島文化スポーツ事業団

## 青森と岩手の伝統こけし展

7月1日(土) ~ 7月9日(日)

開館時間 9:00 ~ 16:30 会場 ギャラリー藤 入場 無料



青森県の津軽系こけしの工人16名の作品を約50点と岩手県の南部系のこけし工人7名の作品8点と岩手県で遠刈田系のこけしを製作している工人2名の作品約50点を展示します。

参考展示として温海の阿部進矢さんの作品も20~30点展示します。土曜日と日曜日(ランチタイム除く)は、出展者の石黒清一氏が常駐するとともに7月9日(日)の10時30分から石黒清一氏によるギャラリートークを開催いたします。

新型コロナ感染予防について

入館の際の手指消毒や検温、マスクの着用は個人の判断になります。

寺子屋は土曜日の午前中 <これからも入会できます。見学可>

「藤島少年少女合唱団」指導；富樫千佳子先生と中澤牧子先生  
合唱練習は土曜日の9時~10時半までです。練習の始まりと終わりは挨拶。発声練習をして歌の練習に入ります。(発声練習・・・これは楽譜はありませんから聞いて覚えます)高音部、低音部のパートを決めて歌を覚えていきます。



「子どもの土曜美」指導；小林功先生 月1回の教室。天気が良ければ歩いて草花を探したり、公園などで写生をします。小さなイスに座って鉛筆で下描きをして先生に見せます。構図などアドバイスを頂き、色塗り開始。完成すると先生からまた見て頂いて講評を頂きます。



## 郷土研究サークルの思い出 ワイワイ車中研修 - 1泊研修

私も初めての所が多く興味津々で計画を作った。ガイドは出来るだけ地元の人をお願いした。しかし自動車の運行計画作成で所用時間が分らず苦労した。どうしようもない時は、家族一泊旅行と考え、事前下見旅行をして補った。これは私の良い勉強にもなった。行きの空き時間は、通過する市町村の文化財・歴史などを10分ほどの授業を数時限行うことにした。柔軟なもので、皆さんの受けもよく催促されることもあった。昼食後の帰途はもう車中大宴会である。ベロベロになるわけではなく、適度の話はお互い聞きあい通じた。車中研修で分かったことがある。例えば、関根の集落・上川は「ウエカワ・カミカワ」でなく、何故「イヤガワ」なのか。話題を投げた。飛びついてきましたね。アーデモナイ・コーデモナイと大いに乗りました。結論をいうと、本家のことを「イヤネ」「カミ」「ウエ」と呼んでいた。ということから、最初の村・本村という意味からということになった。分かってしまうと、結構身近なことだとなった。藤島の地名を調べていた私にとっては大収穫であった。この頃の私は、「周平ガイド」をはじめ、

楡引町の地域連携講座「旧六十里街道を訪ねて」の担当、加茂では「加茂と庄内」の講演など多忙なはずだが、そうは思わないほど楽しいものであった。

(山形市在住 青山 崇)

